

# 県西地域活性化プロジェクト 意見募集のための素案（案）



神奈川県

## 目次

県西地域活性化プロジェクト 意見募集のための素案について……	1
プロジェクトの基本的な視点……	2
「未病を治す」とは……	3
対象地域……	3
プロジェクトの期間……	3
県西地域のすがた……	4
プロジェクト全体の方向性……	6
プロジェクト……	8
プロジェクトの推進体制……	16

## 県西地域活性化プロジェクト 意見募集のための素案 について

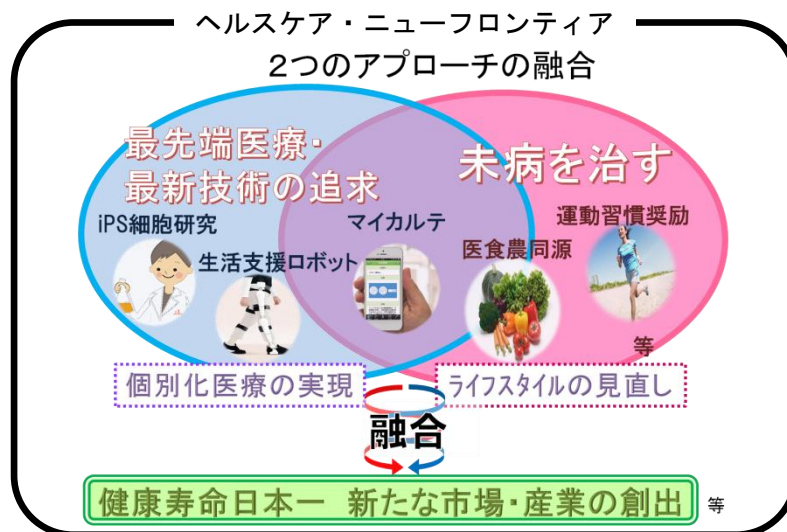
- この素案は、これまでヒアリングや意見募集などを通して、市町、団体、企業、県民の皆様からいただいたご意見、ご提案を「未病を治す」というキーワードでつなげて、プロジェクトとしてとりまとめたものです。
- 各プロジェクトの具体的な進め方や実施主体については、地域の皆様とともに検討してまいります。
- 今後も引き続き、地域のご意見を伺いながら、プロジェクトを創り上げてまいります。

## プロジェクトの基本的な視点

- 県西地域は、都心から近い位置にありながら、富士箱根伊豆国立公園や丹沢大山国立公園に代表される豊かな森林、丹沢の山々を背に足柄平野を流れる酒匂川と注ぎ込む相模湾など、特色ある自然に恵まれた地域です。
- また、箱根、湯河原、山北などの温泉地を有するほか、自然の中で様々なスタイルで運動が楽しめ、豊富な海の幸、山の幸、農林水産品があるなど、多彩な魅力にあふれています。

### 【超高齢社会に立ち向かう】

- 一方、日本はこれまでに経験したことのない超高齢社会に直面しており、特に神奈川県では今後、急速なスピードで高齢化が進んでいきます。超高齢社会に立ち向かうため、県では、「最先端医療・最新技術の追求」と、「未病を治す」という2つのアプローチの融合により「健康寿命日本一」と「新たな市場・産業の創出」を目指す、「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取組みを進めています。



### 【県西地域の地域資源を生かす】

- 様々な地域資源を有し、年間3千万人もの観光客を引きつける県西地域は、食生活や運動などライフスタイルを見直して「未病を治す」取組みを実践する場所として最適であると考えられます。
- そこで、県西地域の自然や食材などの魅力を生かして、「未病を治す」をキーワードに、地域の魅力をつなげて一つの大きな魅力を創り出し、新たな活力を生み出すためのプロジェクトを策定することとしました。

## 「未病を治す」とは

「未病」とは、健康と病気を「二律背反」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、この全ての過程の変化を表す概念のことです。

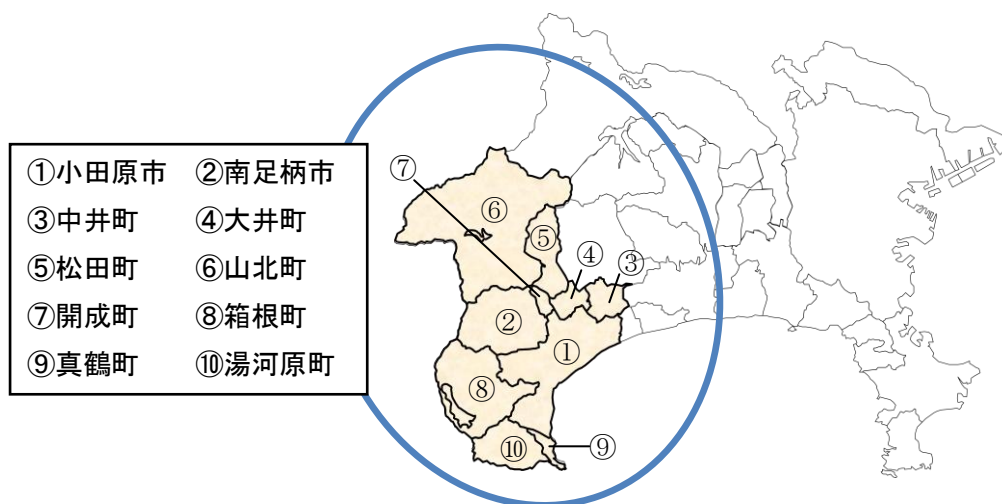
そして「未病を治す」とは、体全体をより健康な状態に近づけることを指し、そのためには、食のあり方や運動、休養などライフスタイルを見直すことが必要になります。

これは、超高齢社会に立ち向かうための概念として、全国、世界に先駆けた「神奈川モデル」となります。

健 康      未 病      病 気

## 対象地域

このプロジェクトは、小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町を対象地域としますが、プロジェクトの実施に関連する地域については連携して取り組んでいきます。



## プロジェクトの期間

このプロジェクトは、2020年(平成32)の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、未病を治す「神奈川モデル」をアピールすることを目標に取り組んでまいります。

## 県西地域のすがた

### (1) 面積・人口

全県面積の約4分の1を占め、その約70%が森林、8%が宅地、7%が農地となっている。

人口は全県の約4%で、全体的に減少に転じており高齢化率も高くなっている。

- ・面積 635.29 k m<sup>2</sup> (全県2,415.86 k m<sup>2</sup>)
- ・人口 353,180人 (全県9,084,223人) [平成25年11月1日現在]
- ・高齢化率 小田原市24.2%、南足柄市25.0%、足柄上郡24.4%、足柄下郡32.2% (全県20.7%) [平成24年]

### (2) 自然

全県森林の約46パーセントを占め、豊かな水を育んでいる。また、富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園などの自然公園、日本ジオパーク※に認定された箱根ジオパークなど、豊かな自然に恵まれている。

- ・森林面積 43,886ha (全県94,902ha)
- ・自然公園 富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園、県立真鶴半島自然公園、県立奥湯河原自然公園

### (3) 温泉

箱根をはじめ、湯河原温泉、中川温泉など多くの温泉地を有し、県内源泉の約8割が所在するなど多くの温泉資源に恵まれている。また、温泉地を中心に全県の宿泊施設の約3割が立地し、県内宿泊客数の約4割を占めている。

- ・源泉数 406本 (全県521本) [平成14年]
- ・宿泊客数 566万人 (全県1,422万人) [平成24年]

※ジオパーク：地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園のこと。

#### (4) 農林水産品

丹沢や箱根の麓に広がる地域では、みかん、湘南ゴールド、うめ、キウイフルーツ、茶、タマネギ、米などの農産物が生産され、特にみかん等の果実類や茶は、県内の7割以上を生産している。

また、しいたけ等の林産物や足柄牛に代表される畜産物なども豊富である。水産品についても、小田原漁港をはじめ、真鶴、岩、福浦などに漁港があり、定置網漁により、新鮮なさば、いわし、あじなどが水揚げされている。

- ・農家数 5,933戸 (21%) (うち専業農家数747戸 (15%)) [平成23年]
- ・耕地面積 4,465ha (22%) [平成23年]
- ・農業産出額 96億円 (13%) (果実43億円 (47%)、野菜17億円 (5%)  
米11億円 (28%)) [平成18年]
- ・農産物生産量 みかん23,781t (80%) うめ1,492t (72%)  
キウイフルーツ1,324t (80%) 荒茶139t (70%)  
タマネギ1,840t (33%) 米4,368t (26%) [平成18年]
- ・林産物生産量 生しいたけ59t (16%) たけのこ9t (28%) [平成23年]
- ・魚種別漁獲量 4,671t (8%)  
(さば類1,413t (15%) いわし類946t (11%)  
あじ類455t (45%)) [平成22年]

\*(%)は全県に占める割合

#### (5) 観光

豊かな自然や温泉に加え、大雄山最乗寺や小田原城址をはじめ、旧東海道や足柄古道など、名所旧跡が数多く残っている。

また、かまぼこやひもの、寄木細工など多くの特産品があり、年間観光客数が3,000万人を超える県内有数の観光地となっている。

- ・入込観光客数 3,193万人 (全県1億7,348万人) [平成24年]
- ・入込観光客消費額 1,144億円 (全県2,834億円) [平成24年]

#### (6) 利便性

都心から90km圏内に位置し、東海道新幹線、東海道線、小田急線などの鉄道や、東名高速道路、小田原厚木道路、西湘バイパスなどの幹線道路が通る、交通利便性の高い地域である。

## プロジェクト全体の方向性

### めざすすがた

未病を治して、住む人も訪れる人も健康長寿

未病を治す地域の魅力で産業力をパワーアップ

- 県西地域において未病を治し、住む人も訪れる人も健康長寿になる取組みを進めるとともに、未病を治す様々な地域の魅力をつなげて産業力を高め、地域の活性化を図るため、次の3つの柱でプロジェクトを進めます。

#### 柱1：未病がわかる

「未病を治す」取組みにあたっては、未病について十分な理解が図られるとともに、自分の未病の状態を把握することが必要です。

そこで、県西地域が持つ首都圏からの交通利便性の高さや誘客数の多さという特性を生かし、未病の科学的な検証や知識の普及に向けた「未病がわかる」プロジェクトに取り組みます。

#### 柱2：未病を治す

「未病を治す」ためには、食生活や運動など、ライフスタイルそのものの見直しが重要です。

そこで、温泉や森林、地元の食材などの魅力を最大限に生かした「未病を治す」実践に向けたプロジェクトに取り組みます。

#### 柱3：未病でつなぐ地域の活性化

県西地域で重点的に進める「未病がわかる」、「未病を治す」取組みは、地域経済の活性化に結びつけることが重要です。

そのため、「健康・未病産業」などの集積促進を図る産業基盤の形成や、未病を通じた観光魅力の向上、未病を治す新しい生活スタイルが実践できるまちづくりなど、「未病でつなぐ地域の活性化」を図るプロジェクトに取り組みます。



## 未病がわかる

### 未病を「知る」

- ①未病がわかる拠点形成プロジェクト
- ②情報発信！「あしがら里の駅」プロジェクト

### 未病の「見える化」

- ③未病がわかる拠点形成プロジェクト（再掲）
- ④アクティビティセンタープロジェクト

## 未病を治す

### 「食」の提供

- ⑤「未病癒しの里」づくりプロジェクト
- ⑥薬用植物等利活用促進プロジェクト
- ⑦足柄茶バリューアップ・プロジェクト
- ⑧「売れる」農林水産品・産地づくりプロジェクト
- ⑨農林水産業の基盤強化プロジェクト

### 「運動」を楽しむ

- ⑩楽しく歩く地域づくりプロジェクト
- ⑪ココ・スポーツ推進プロジェクト
- ⑫全国発信！スポーツイベント誘致プロジェクト

### 「心と体」を癒す

- ⑬農と結びついたくらしの提案プロジェクト
- ⑭温泉の魅力アピールプロジェクト
- ⑮森林の活用促進プロジェクト

- ・未病を治して、  
住む人も訪れる人も  
健康長寿
- ・未病を治す地域の魅力で産業力をパワーアップ

## 未病でつなぐ地域の活性化

### 産業基盤の形成

- ⑯「健康・未病産業」などの集積促進プロジェクト

### 観光魅力アップ

- ⑰地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト

### 新たなまちの形成

- ⑱ME-BYO タウン（MBT）形成促進プロジェクト
- ⑲まちをつなげる社会基盤の形成促進プロジェクト

## プロジェクト

### 未病がわかる

#### ■未病を「知る」



未病に関する科学的な検証を行うとともに、地域の交流拠点などにおいて正しい知識の普及を図ります。

#### ① 未病がわかる拠点形成プロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

未病に関する科学的な検証や正しい知識の普及を行う機能を持った拠点づくりについて検討する。

〔機能の例〕

食品などの機能性評価、エビデンス※の集積、未病に関する普及啓発など

##### 【プロジェクトのねらい】

- 未病の科学的検証、機能性食品などの開発、販売促進
- 食品の機能性表示認証制度の緩和策の検討

#### ② 情報発信！ 「あしがら里の駅」プロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

来客の多い施設（直売所、6次産業拠点、体験型施設など）で、県西地域の未病を治す取組みを紹介する施設を「あしがら里の駅」に認定して、戦略的にPRを行う。また、新たな拠点施設の整備を促進する。

##### 【プロジェクトのねらい】

- 未病の普及啓発
- 県西地域の新たな魅力の向上
- 交流人口の増加

※エビデンス：医学で、臨床結果などの科学的根拠。その治療法がよいとされる証拠。

## ■未病の「見える化」



最先端技術による未病のモニタリング、健康状態のセルフチェックなどにより、自分の未病の状況を「見える化」し、一人ひとりの状況に応じた生活スタイルを提案します。

### ③ 未病がわかる拠点形成プロジェクト（再掲）

#### 【プロジェクトの概要】

自分の未病の状況を「見える化」する機能を持った拠点づくりについて検討する。

〔機能の例〕

未病に関するセルフチェック・健康食生活の提案など

#### 【プロジェクトのねらい】

- 未病に関する普及啓発
- 未病の状況の見える化
- 一人ひとりの状況に応じた生活スタイルによる健康増進

### ④ アクティビティセンタープロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

身近な場所で自分に合った健康づくりを提案・実践する施設（アクティビティセンター）の設置を促進する。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 健康づくりに必要な食・運動・社会参加を身近な場所で行う環境づくり

## 未病を治す

### ■「食」の提供

医食農同源\*の考え方に基づいた食の提供や、生産者と消費者をつなぐネットワークの強化、農林水産物のブランド化などを図ります。

#### ⑤ 「未病癒しの里」づくりプロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

未病に関するセルフチェックの結果を活用し、個人の体調、体質に合った薬膳\*を提供するレストラン・旅館・ホテルなどを認定して、戦略的にPRを行う。

##### 【プロジェクトのねらい】

- 個人の体質等に合わせた「個別化」食生活の実践
- 健康増進や美容効果を目的とする食事を提供する場の増加

#### ⑥ 薬用植物等利活用促進プロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

食用など利活用に適した薬用植物等の選定を研究機関が連携して実施するとともに、薬用植物等を利用したレシピの開発や旅館等での活用を検討するなど、薬用植物等の利活用促進を図る。

##### 【プロジェクトのねらい】

- 薬用植物等の利活用による医食農同源の普及促進

※医食農同源：病気の治療をするのも、日常の食事をするのも、ともに生命を養い健康を保つために欠くことのできないもので、源は同じだという考えに、さらに食材を育てる「農」を取り込んだ健康観。

※薬膳：すべての食物は人の体の機能を調節する効能も併せ持っているという考え方に基づき、食物や調理法の組み合わせで健康増進を図ろうとする食事。

## ⑦ 足柄茶バリューアップ・プロジェクト

### 【プロジェクトの概要】

茶と薬用植物、ハーブなどを組み合わせた新商品の開発を進めるとともに、茶の機能性を活用した6次産業化\*の推進、足柄茶コンシェルジュによる積極的なPR活動などにより、足柄茶の価値向上を図る。

### 【プロジェクトのねらい】

- 茶の機能性の活用による健康増進
- 足柄茶の販売・消費の拡大

## ⑧ 「売れる」農林水産品・産地づくりプロジェクト

### 【プロジェクトの概要】

農林水産物のブランド化等を進め、生産・販売の拡大を図る。

- ・県西地域の安全安心な農産物のブランドづくりの推進
- ・医食農同源を目指した足柄芋・足柄里芋（弥一芋）の販売戦略の推進
- ・シェフと農家をつなぐオンデマンド&サプライ販売戦略の推進
- ・畜産ブランド強化戦略の推進
- ・魚食や生産の拠点となる漁港の活用と地場のさかなのブランド化戦略の推進
- ・農産物などの販売、未病の情報発信拠点の整備

### 【プロジェクトのねらい】

- 農林水産物のブランド化、6次産業化、地域のニーズに合った生産・流通・販売システムの構築による地域の農林水産物の利用促進
- 情報発信による地域の農林水産物の魅力の周知

## ⑨ 農林水産業の基盤強化プロジェクト

### 【プロジェクトの概要】

未病を治す「食」の基礎となる農林水産業の課題を解決するため、その基盤整備を推進する。

- ・多様な担い手の育成に向けた支援
- ・農地中間管理機構事業など遊休農地の有効活用に向けた検討
- ・野生鳥獣による農林水産業被害対策

### 【プロジェクトのねらい】

- 担い手の高齢化、後継者不足の解消、耕作放棄地の発生防止
- 農業への参入促進、農地利用の効率化・高度化、鳥獣被害の防止

※6次産業化：生産(1次)だけでなく、食品加工(2次)、流通販売(3次)を取り込んで付加価値を高めること。

## ■「運動」を楽しむ



気軽に楽しめるウォーキングやスポーツの普及、場づくりを推進するとともに、スポーツイベントの誘致を図ります。

### ⑩ 楽しく歩く地域づくりプロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

様々な楽しみ方ができるアプリケーションを開発し、東海道・足柄古道ウォークや歴史探訪まちあるきなど、地域の風景や歴史に触れながら、楽しく歩いて健康になる取組みを推進する。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 運動による健康づくり
- 新たな魅力の掘り起こしによる観光振興

### ⑪ ロコ・スポーツ\*推進プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

ノルディック・ウォーキングやパークゴルフなど、体に負担が少なく、運動効果の高いスポーツや地域で親しまれているスポーツなどを普及し、様々な年代が気軽に楽しめる場づくりを進める。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 誰もが気軽に体を動かせる機会の創出
- 運動による健康づくり
- 新たな魅力の掘り起こしによる観光振興の実現

### ⑫ 全国発信！スポーツイベント誘致プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

各種スポーツイベントを誘致し、全国に未病を発信するとともに、運動への意識を高める。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 健康、生きがいづくり
- 交流人口の増加

※ロコ・スポーツ：「ロコ」は地元の、地方のという意味。地域で親しまれているスポーツのこと。

## ■ 「心と体」を癒す



温泉の魅力を様々な年代にアピールしていくとともに、森林浴の普及や、農と結びつきたくらしを提案します。

### ⑬ 農と結びつきたくらしの提案プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

農に触れ合うことで、心と体をリフレッシュさせ、健康的な生活を送る環境づくりを進める。

- ・ クラインガルテン（滞在型市民農園）の実現に向けた体制づくり
- ・ 市民農園の促進

#### 【プロジェクトのねらい】

- 「医食農同源」を実践する環境づくり
- 交流人口の増加、耕作放棄地の減少

### ⑭ 温泉の魅力アピールプロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

個人の体調やライフスタイルに応じた効果的な入浴法の提案や「国民保養温泉地」指定による温泉地の「ブランド化」などにより、温泉の持つ魅力を発信する。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 温泉の効果（美容・健康増進等）のアピールによる誘客促進
- ヘルス・ツーリズムによる観光振興
- 効果的な温泉活用による「未病を治す」実践

### ⑮ 森林の活用促進プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

森林の癒しの効果を未病を治すことに生かし、森林浴など、健康増進効果を享受する取組みの普及・展開を図る。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 森林の癒しの効果による「未病を治す」実践
- ヘルス・ツーリズムによる観光振興

## 未病でつなぐ地域の活性化

### ■産業基盤の形成



食品やライフサイエンスなど、未病の課題解決を図る「健康・未病産業<sup>※</sup>」などの集積促進を図ります。

#### ⑩ 「健康・未病産業」などの集積促進プロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

交通の利便性が高いことや、「未病を治す」取組みとの連携が可能であるなどの利点を生かし、食品、ライフサイエンスなど「健康・未病産業」や、安全な野菜を安定して供給できる植物工場などの誘致を促進する。

##### 【プロジェクトのねらい】

- 「健康・未病産業」などの集積による「未病を治す」取組みの促進
- 企業立地による地域経済の活性化

### ■観光魅力アップ



地域の魅力を全身で体感し、訪れる人の未病を治す、新たな視点による観光を推進し、一層の誘客促進を図ります。

#### ⑪ 地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト

##### 【プロジェクトの概要】

温泉や食、森林や海などを活用して、「未病を治す」新たなツーリズムを展開し、観光・誘客の促進を図る。

- ・新たなツーリズムの展開（ヘルス・グリーン・ブルー・スポーツなど）
- ・県西地域まるごと体験ツアー、ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施

##### 【プロジェクトのねらい】

- 新たな観光資源の開発による誘客促進

※健康・未病産業：医療機器や医薬品、食品、ICT、ソフト、通信、電子部品など、病気の予防・診断や健康の維持増進、未病の状態から健康な状態に戻す取組みに資する産業。



## ■新たなまちの形成



「未病を治す」新しい生活スタイルが実践できるまちづくりを促進するとともに、円滑に周遊できる交通ネットワークの重点整備を行います。

### ⑱ ME-BYOタウン（MBT）形成促進プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

最先端機器の導入、ICT（情報通信技術）活用による健康情報の共有、運動習慣の奨励などを融合した、「未病を治す」新しい生活スタイルが実践できるまちづくりを促進する。

#### 【プロジェクトのねらい】

- 住民の健康増進
- 定住人口の増加
- 新たな産業の市場形成
- 健康情報のデータベース化による「未病を治す」科学的検証

### ⑲ まちをつなげる社会基盤の形成促進プロジェクト

#### 【プロジェクトの概要】

各プロジェクトの推進に必要な社会基盤の整備を進める。

- ・新東名高速道路や小田原箱根道路などの事業促進
- ・小田原市中心部の環状道路となる都市計画道路穴部国府津線、南足柄市と箱根町を連絡する道路や、広域営農団地農道小田原湯河原線など、交通ネットワークの重点整備

#### 【プロジェクトのねらい】

- 交通渋滞の緩和
- 観光地へのアクセス向上
- 物流の効率化
- 地域分断の解消
- 農業流通の改善、多様な交流・連携

## プロジェクトの推進体制

プロジェクトの推進に当たっては、市町、県、団体、企業、地域が連携、協力し取り組む必要があります。そこで、推進組織として「県西地域活性化推進協議会」を位置づけ、プロジェクトの効果的な展開を図ります。

- 名 称：県西地域活性化推進協議会（会長 神奈川県知事）
  
- 構成団体：36 団体（県西地域 2 市 8 町、県、商工関係団体、農林水産関係団体、観光関係団体、金融機関、学識者）  
(平成 25 年 12 月現在)
  
- 所掌事項：①県西地域の活性化に関する協議  
②県西地域の活性化に関するプロジェクトの検討及び推進  
③その他協議会の目的を達成するために必要な事業